

下水道新聞 Vol.5

下水道マスコットキャラクター
「スイスイ」



菊川浄化センター 下水道室 TEL 35-0933

<http://www.city.kikugawa.shizuoka.jp/kurashi/jougesuidou/gesuidou/index.html>

～水環境フェスタを開催しました～

昨年に引き続き、8月5日（日）に環境推進課と下水道室主催により、6企業・2団体の協力の下、より多くの市民の皆様に関心を持っていただくために『水環境フェスタ』を開催しました。

本年は、昨年の展示物に加え、『汚水ポンプのデモ機』と管路内を清掃するための『高圧洗浄車』を追加し、新たなイベントとして西方川での水生生物調査『川に入ってみよう!!』を行いました。



◎菊川浄化センター施設見学会
浄化センターのしくみ（処理行程）について市職員から説明を受けています。



◎汚水ポンプのデモ機
トラックの荷台の水槽で汚水ポンプを運転し、どのように水が流れるかを見ることができました。



◎TVカメラ・高圧洗浄車
普段は見ることも出来ない、管路内の調査及び清掃を行う機械を間近で見、触ることができました。

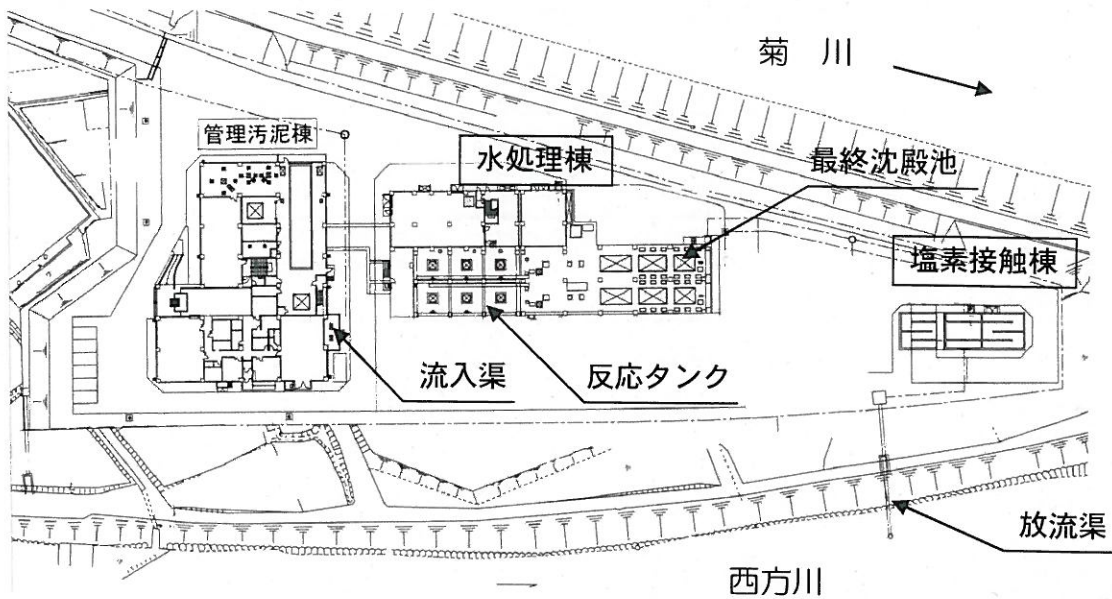


◎川に入ってみよう!!
親子で西方川に入り、水生生物を採取し、水質を調べました。

（裏面につづく）

～菊川浄化センターの施設紹介 建物編～

今回から菊川浄化センターの各施設について、紹介していきます。
 まず、最初は、『菊川浄化センターの各建物の名称』を紹介します。
 菊川浄化センターは、管理汚泥棟・水処理棟・塩素接触棟の3つの棟があります。



管理汚泥棟 北西側外観

◎管理汚泥棟

この建物には、各家庭からの汚水が一番最初に入ってくる流入渠や沈砂池、水処理棟に汚水を送るための主ポンプ、汚泥処理設備、浄化センターの設備を監視している中央監視室があります。

下水道室もこの建物の中にあります。



◎水処理棟

この建物には、酸素発生装置室・反応タンク・最終沈殿池があります。

主ポンプで反応タンクに送られた汚水は、ここでいろいろな微生物に汚れを食べてもらいます。その後、最終沈殿池で重くなった微生物（活性汚泥）を沈め、塩素接触棟に送られる『うわ水』とに分けます。

活性汚泥については、反応タンクへ戻されるものと、余った汚泥（余剰汚泥）として汚泥処理設備へ送られるものがあります。

◎塩素接触棟

この建物では、最終沈殿池から送られて来たうわ水に次亜塩素を加え、滅菌した後、西方川へ放流します。

※水の流れ

各家庭→流入渠→沈砂池→主ポンプ→反応タンク→最終沈殿池→塩素接触→放流



次回は、『流入渠』を紹介する予定です。

詳しくは下水道室(TEL 35-0933) または
 市のホームページ(菊川市のホームページ→暮らし→上下水道→下水道) まで お問い合わせください。